

審議方法等について

- 1 審議日程等について
- 2 審議会運営について
- 3 総合計画審議会からの答申方法について

1 審議日程等について

- 令和7年度第3回以降の審議会では、第7次小田原市総合計画第1期実行計画の行政案について、目次の各項目ごとに審議いただく。

第7次小田原市総合計画 第1期実行計画行政案		小田原市総合計画審議会	
目次	ページ数	会議回	日程
序論	1～9	第3回会議	9月25日（木）
基本構想	10～13	※審議対象外	
第1期実行計画の枠組み	14～17	第3回会議	9月25日（木）
施策・詳細施策	18～77	第4回会議	10月16日（木）
		第5回会議	10月31日（金）
		第6回会議	11月10日（月）
協働プロジェクト	78～80	第7回会議	11月20日（木）

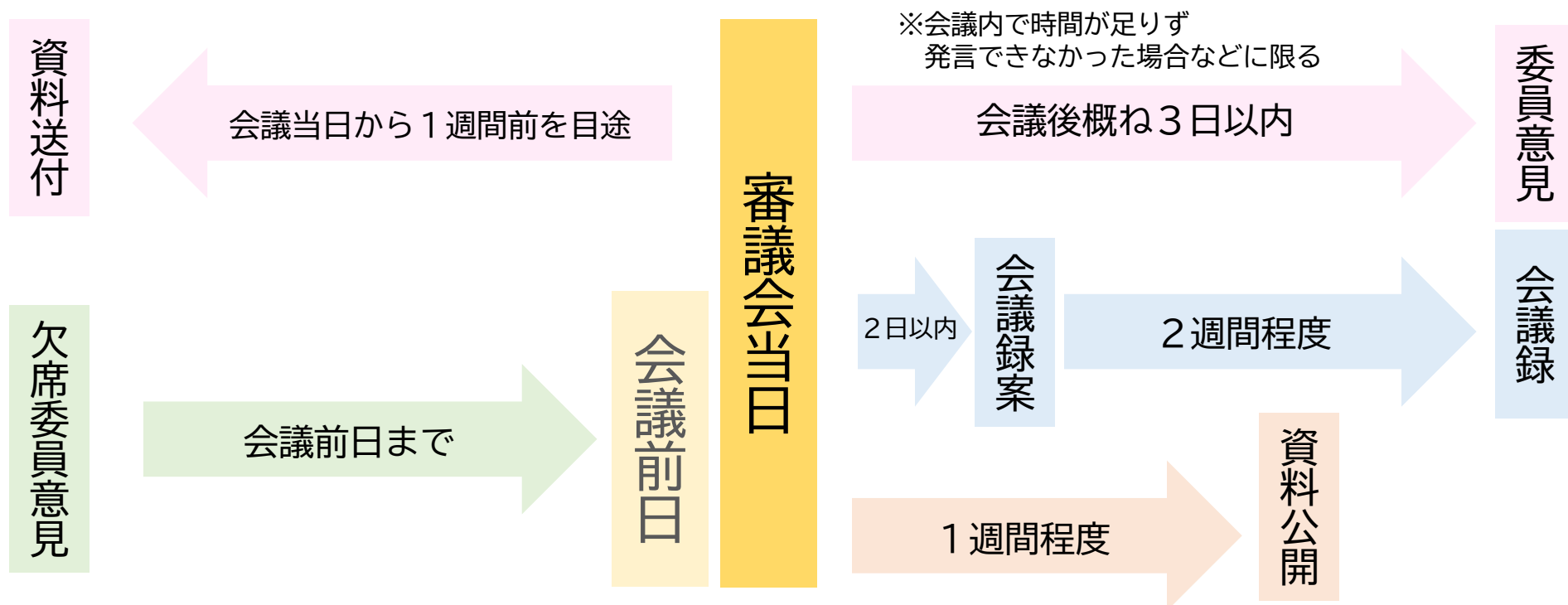
1 審議日程等について

- 各会議の主な議題と配布資料等は次のとおり。第4～7回の施策・協働プロジェクトの審議は、関係課出席の上、時間を区切って審議予定。
- 第8回は市長・副市長出席の上総括審議、第9回は答申案協議を行う予定。

回	開催日時 @会場	時間	主な議題			配付資料
第3回	9月25日（木） @601会議室	10:00～12:00	・ 諮問、第1期実行計画案説明・審議 （全体像、序論、第1期実行計画の枠組み）			・ 審議方法等 ・ 行政案・概要版・補足資料
第4回	10月16日（木） @全員協議会室	13:30～14:10 （40分）	まちづくりの目標5 「安心して暮らすことができる小田原」	・ 施策23、24	・ まちづくりの目標・施策各指標一覧 ・ 議員意見・市民説明会・パブコメ意見一覧	
		14:10～14:50 （40分）		・ 施策25～27		
		14:50～15:30 （40分）		・ 施策28～30		
第5回	10月31日（金） @全員協議会室	13:30～14:45 （75分）	まちづくりの目標1 「いのちを大切に作る小田原」	・ 施策1～8	・ 第1期実行計画行政案及び概要版 は、第3～9回全ての会議で使用し ますのでご持参ください。 ・ 各指標一覧は、第4～6回会議で 使用しますのでご持参ください。	
		14:45～16:00 （75分）		まちづくりの目標3 「未来を拓く人が育ち、地域の絆が結ばれる小田原」		・ 施策12～15
第6回	11月10日（月） @全員協議会室	13:30～14:20 （50分）	まちづくりの目標2 「自然環境の恵みがあふれる小田原」	・ 施策9～11		
		14:20～15:10 （50分）	まちづくりの目標4 「地域経済が好循環し、多彩な資源が花開く小田原」	・ 施策16～19		
		15:10～16:00 （50分）		・ 施策20～22		
第7回	11月20日（木） @全員協議会室	13:30～15:30	協働プロジェクト1～7		・ 議員意見・市民説明会・パブコメ意見対応一覧	
第8回	12月8日（月） @全員協議会室	13:30～15:30	・ 総括審議・これまでの論点の振り返り ・ 市長・副市長との意見交換を含めた全体審議			・ 総計審意見対応一覧・これまでの論点整理
第9回	12月24日（水） @全員協議会室	13:30～15:30	・ 答申案協議			・ 答申事務局案

2 審議会運営について

- 会議資料の事前送付は、会議開催日の1週間前を目途に事務局から各委員に送付する。
- タイムスケジュールの関係から、委員意見は原則当日会議内での発言のみとし、会議内で時間が足りなかった場合などに限り、後日の意見書の提出を受け付ける。（提出期限は概ね3日以内）
- 当日会議を欠席する委員は、会議前日までに事務局に意見書を提出する。（任意様式）
- 当日の会議録は、委員意見の抽出・確認及び欠席委員への議事内容の共有を目的として、原則2日以内に事務局で作成し委員へ送付する。
- 会議資料は、会議終了後1週間程度で市ホームページで公開する。



3 総合計画審議会からの答申方法について

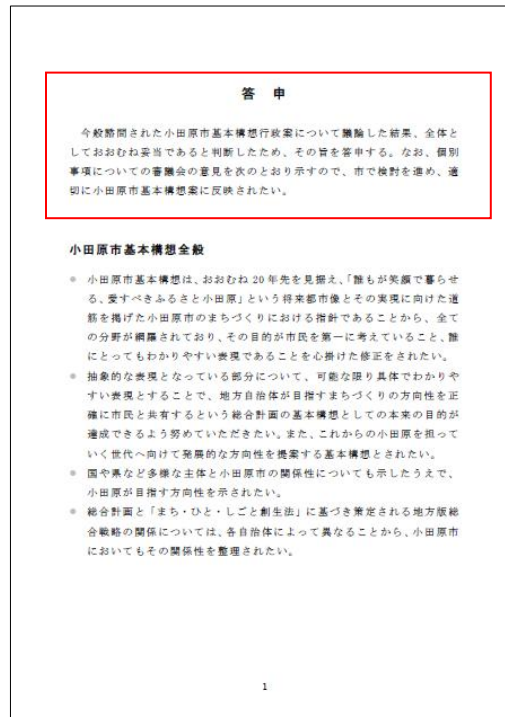
- 事務局案としては、第7次総合計画基本構想（R6）と同様、行政案に対する意見を取りまとめた提言書のような様式を想定している。
- 答申方法について、審議会の意向を確認したい。

○「小田原市基本構想について（答申）」（令和7年1月）を例に

鑑文



答申本文



附帯意見（構成イメージ）

第7次小田原市総合計画第1期実行計画全般

- 1 序論
- 2 第1期実行計画の枠組み
- 3 施策・詳細施策
 - （1）いのちを大切にする小田原
 - （2）自然環境の恵みがあふれる小田原
 - （3）未来を拓く「人」が育ち、地域の絆が結ばれる小田原
 - （4）地域経済が好循環し、多彩な資源が花開く小田原
 - （5）安心して暮らすことができる小田原
- 4 協働プロジェクト